

# 障がい福祉瓦版

## 障がい福祉施設の職員研修

■相談・問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

市内にはさまざまな障がい福祉施設があり、入浴・食事の介助や就職に向けた訓練など、日々、障がいをお持ちの方の生活をサポートしています。

障がいの個性、生活環境、家族、経済面など、人によっては複雑な困りごとがあるなか、障がい福祉施設の職員は、一人ひとりに寄り添った支援をする必要がありますが、「人を相手とし、人が行う」ものである以上、職員個人の資質や能力が、サービスの質に直結します。

市内の施設が共に学び、共に人材を育成する機会をつくるため、市地域自立支援協議会の相談支援部会が中心となり、下記研修会を開催しました。



### 下野市障がい福祉施設従事者研修

参加対象を管理者と従事者に分け、それぞれ異なる内容で実施しました。

#### 管理者向け

##### ■日時

7月30日 午後1時30分～3時30分

##### ■講演内容

「管理者の立場と視点の違いについて」  
～隣の管理者どうしてる！？ 人材育成&職場  
風土横のつながりを持って共に学び・共に  
成長！！～

##### ■講師

栃木県障害者相談支援協働コーディネーター  
大嶋奈央子 氏

#### 従事者向け

##### ■日時

9月2日 午後1時30分～3時30分

##### ■講演内容

「もっと知ろう！ その人のこと・障がいのこと」  
～その人らしさを理解し、知識を実際の柔軟  
な対応へ～

##### ■講師

(一社)Bridge 代表理事 山口理貴 氏



研修の様子

管理者向け研修では主に人材育成について、従事者向け研修では障がい特性や対応方法について、講師の先生よりお話を伺いました。

講演後は異なる施設の職員同士で、職場の悩みや、障がいをお持ちの方に対する具体的な対応方法などについて、相談や意見交換をしました。

なお、なるべく多くの方が参加できるように、同じ内容の研修を12月と、令和7年2月にも実施予定です。

#### 参加者の声



管理者

職場では中間的な役割で、相談できる場所がなかったので、研修に参加し仲間ができた感覚になった。  
グループワークで学んだ事を活かしつつ、職場の雰囲気良くしたい。



管理者

新人職員や異動してきた職員に対する、的確な指導方法やコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。



従事者

専門的な支援について学ぶことができた。

他の施設の職員と話すことで、視野が広がった。



従事者

私たちがご本人についてどの程度理解できているかが、支援の質に影響すると分かった。

今後はご本人の行動をよく見て、「なぜその行為をするのか」を考えながら支援をしていきたい。



従事者

### 市障がい児者相談支援センター

当センターでは、下野市にお住まいの障がいのある方や、そのご家族などからの相談はもちろん、支援にあたる職員の方々からの相談も受け付けています。さまざまな分野の相談に対応できるよう、社会福祉士や精神保健福祉士、相談支援専門員などの専門職が在籍しています。お気軽にご相談ください。